中山 10 R

発走 15：25

第56回 有馬記念（GⅠ）
（3歳以上、オープン・国際・指定・定量）
（WIN5対象レース・5）

色枠番	馬番	馬名	性	齢	斤量	騎手	厩舎	馬体重	単オッズ	人気	前走	調教タイム	調教コース	脚質	予想
白1	1	ブエナビスタ（母の父 ヒワイジ4勝）	牝	5	55	岩田	栗	470	2.5	1	天皇賞(秋)1着	34.0	坂	追	◎
黒2	2	ヴィクトワールピサ（ネオユニヴァース ホワイトウォーター輸入）	牡	4	57	Mデムーロ	栗	474	4.0	2	天皇賞(秋)2着	34.4	坂	追	○
赤3	3	ヒルノダムール（マンハッタンカフェ シェアエレガンス2勝）	牝	4	57	藤田	栗	474	7.0	3	天皇賞(秋)3着	34.7	坂	追	▲
赤3	4	ペルーサ（ゼンノロブロイ アルゼンチンスター1勝 キャンデイストライプス）	牡	4	57	安藤勝	栗	474	10.9	4	天皇賞(秋)4着	34.2	坂	追	▲
黒5	7	トウザグローリー（キングカメハメハ トウザヴィクトリー6勝）	牝	4	57	福永	栗	470	15.8	5	天皇賞(秋)5着	34.1	坂	追	△
黒5	8	ローズキングダム（キングカメハメハ ローズバド3勝）	牡	4	57	後藤	栗	464	16.0	6	天皇賞(秋)6着	34.3	坂	追	△
青4	5	エイシンフラッシュ（キングズベスト ムーンレディ輸入）	牡	4	57	ルメール	栗	474	17.0	7	天皇賞(秋)7着	34.4	坂	追	△
青4	6	キングトップガン（キングカメハメハ グリタリンクフラワ公営）	牡	8	57	柴田善	栗	470	18.0	8	天皇賞(秋)8着	34.5	坂	追	△
緑6	9	オルフェーヴル（ステイゴールド オリエンタルアート3勝）	牡	3	55	池添	栗	474	19.0	9	天皇賞(秋)9着	34.6	坂	追	△
緑6	10	トーセンジョーダン（ジャングルポケット エヴリウイスパー0勝）	牡	5	57	池江寿	栗	474	20.0	10	天皇賞(秋)10着	34.7	坂	追	△
桃8	13	レッドディヴィス（ディクシージャズ0勝）	牝	3	55	武豊	栗	446	21.0	11	天皇賞(秋)11着	34.8	坂	追	△
桃8	14	ルーラーシップ（キングカメハメハ エアグルーヴ9勝）	牝	4	57	メンディ	栗	496	22.0	12	天皇賞(秋)12着	34.9	坂	追	△
橙7	11	ジャガーメイル（ジャングルポケット ハッピニュマチ公営）	牡	7	57	四位	栗	470	23.0	13	天皇賞(秋)13着	35.0	坂	追	△
橙7	12	アーネストリー（グラスワンダー レッドルダムール3勝）	牝	6	57	佐藤哲	栗	496	24.0	14	天皇賞(秋)14着	35.1	坂	追	△

本紙の見解

▽デビュー戦で大きくモタれながら楽勝したオルフェーヴルだが、その後は試練・鍛錬が続いた。しかし、厩舎関係者・池添騎手の日々たゆまぬ尽力で、その資質は開花した。3歳3戦目のスプリングSを皮切りに、破竹の5連勝を飾るのである。それも、一戦ごとに強く、内容を良化させながら…。

三冠達成はその結果に過ぎない。しかし、改めてこの三冠達成の蹄跡を辿れば驚く。皐月賞もダービーも菊花賞も、他馬を寄せ付けない圧勝ではないか。同世代のウインバリアシオンがJC⑤着なら、世代レベルうんぬんは意味をなさない。競走馬としてのスタートこそ地味だったが、もはや先輩三冠馬のナリタブライアン、ディープインパクト級に近い存在にまでなっている。しかもまだ確実に進化中だから、いずれは…の期待もかかる。後で振り返れば、この有馬こそその評価のターニング・ポイントであるかもしれない。

▽ブエナビスタが近年有数の名牝であることははっきりしている。舞台が東京なら、再度主役であるだろう。しかし、有馬は過去②②着。昨年のように、脚を余して負ける危険性の考えられるコースだ。もちろんオルフェーヴルに力で負ける可能性もあり、相手筆頭にとどめたい。

▽アーネストリーの宝塚記念勝ちは、レース歴代でも最上級ランク。仮にブエナビスタが完調だったとしても、逆転は難しい。強い内容だった。中山二千五百なら条件はさらに良く、グランプリ連破の可能性はある。展開有利もはっきりしている。

▽トーセンジョーダンはもともと中山巧者。JCでのブエナビスタとのクビ差は、コースが変わるだけで逆転の計算が成り立つ。夏の札幌戦以来の戦績をみると、晩成の血は確実に開花。レース展開にも不利はない。

▽ヴィクトワールピサは、ひと叩きでどこまで体調が戻っているかがカギ。昨年の有馬から中山記念を経て、ドバイワールドCまで3連勝した、その力を発揮できれば当然好勝負。

▽ヒルノダムールは、フランス遠征前の大阪杯→天皇賞(春)連勝の実績だけで十分争覇圏。皐月賞は②着好走で、コース適性十分。当時は外を回ったが、インで脚をためる器用さもある。

▽ルーラーシップは、日経新春杯、金鯱賞の強さが忘れられない。当時は、確実に世代トップの近くにいた。休み明けの不利を差し引いても、ノーマークにはできない。

【首位有望】

柏木の単複連

3冠を制したオルフェーヴルは、人びとの期待を大きく上回り、菊花賞の中身は歴代の3冠馬をしのぐ素晴らしい内容だった。この総合力が身につけばもう頂点に近い。

	複
単⑨	…

9⇄5
9⇄1
5→1
9→10
9→12
9→2
9→3

レース展開

【一昨年②着はバラける展開。同じ内枠を引いた1が逆い流れで包まれると…だが、抜け出せば9⑩を猛追。堅くても納得】

逃げ 好位 中団 後方
外 ↑ 内
⑫ ⑬ ⑩ ② ⑦ ⑥ ③ ⑨ ⑭ ❶ ⑧ ⑤ ⑪
スローペース

10R

馬単
9⇄1
9⇄12
9⇄10
1⇄12
9⇄2
9⇄3
9→14

3連複
1 9 12
1 9 10
1 2 9
1 3 9
1 9 14
9 10 12
2 9 12
3 9 12
9 12 14

データ

攻め馬状態	最近の成績	距離の適性	過去の実績
9	1	2	1
1	10	10	2
5	9	10	9
10	11	12	8
11	13	9	5

3連単 フォーメーション
1着 9
2着 1 2 3 10 12 14
3着 1 2 3 10 12 14
（30点）

血が騒ぐ

山野浩一

国内での活躍ならキングカメハメハ、クロフネ、ディープインパクト、シンボリクリスエスなどが素晴らしい成績を残しているが、世界に通用する底力を伝えるという点ではステイゴールドとネオユニヴァースがずば抜けていると思う。底力だけでなく、海外の天然芝やオールウェザーで活躍するには前脚も後脚もぐんと踏み込んでしっかり馬体を持ち上げなければならない。当然時計のかかるレースとなるが、タイムの速い日本の芝のような楽なレースにはならない。冬の洋芝は少し海外の馬場に近づく時期でこれらの血統に有利だ。オルフェーヴルは野芝でも桁外れのレースを続けてきたが、まだ成長期にあり、さらに強くなりそう

10R 3連複

上位1	～25
1 9 10	6.5
1 2 9	9.8
1 9 12	13.1
1 9 13	20.6
1 5 9	24.3
1 2 10	26.3
2 9 10	29.4
1 3 9	30.8
9 10 12	34.0
1 10 12	38.9
1 7 9	39.9
2 9 12	45.2
1 2 12	45.5
1 9 11	52.8
1 8 9	53.0
9 10 13	62.1
1 9 14	64.5
1 10 13	70.3
1 2 3	71.4
1 2 5	74.8
1 2 13	77.0
2 9 13	78.0
1 5 10	78.7
5 9 10	83.6
1 3 10	84.7

10R 3連単

上位1	～25
9 1 10	20.9
9 1 10	26.9
9 10 1	31.2
9 1 12	34.0
1 9 2	42.5
9 1 12	43.2
1 10 9	43.5
10 9 1	52.1
10 1 9	53.3
9 2 1	53.8
1 9 12	54.8
1 2 9	63.3
9 1 13	67.3
9 12 1	72.1
2 1 9	76.0
9 1 5	76.3
2 9 1	78.8
1 9 13	81.2
9 1 3	89.6
9 1 5	90.3
1 9 5	97.5
9 10 2	102.9
1 12 9	107.1
9 1 7	110.7
1 10 2	112.8

JRA中間発表 馬番連勝オッズ

（午前10時現在）

1	—	7	256.7
2	12.7	8	271.2
3	43.4	9	37.7
4	—	10	77.0
5	40.3	11	465.1
6	183.5	12	138.0
7	62.3	13	201.9
8	59.9	14	331.1
9	3.7	3	—
10	11.2	7	1134.5
11	79.4	8	560.7
12	20.1	9	265.5
13	34.4	10	596.0
14	99.2	11	838.5
2	—	12	774.7
3	83.1	13	838.5
4	—	14	1343.3
5	65.9	7	—
6	360.2	8	309.0
7	132.8	9	75.0
8	124.8	10	179.7
9	12.9	11	513.5
10	26.2	12	221.3
11	219.7	13	279.8
12	45.9	14	422.4
13	72.8	8	—
14	183.9	9	93.9
8	—	10	206.7
4	—	11	634.2
5	186.6	12	343.6
6	462.6	13	292.7
7	249.3	14	613.9
8	277.7	9	—
9	39.1	10	10.0
10	91.4	11	99.0
11	55.3	12	15.8
12	150.9	13	29.9
13	207.8	14	84.4
14	345.9	10	—
4	—	11	165.0
5	—	12	41.0
6	—	13	74.9
7	—	14	202.3
8	—	11	—
9	—	12	252.1
10	—	13	334.2
11	—	14	533.5
12	—	12	—
13	—	13	101.5
14	—	14	329.3
5	—	13	—
6	455.7	14	288.0

枠連（午前10時現在）

	1	2	3	4
1	—	—	—	268.3
2	14.7	66.6	99.8	85.4
3	28.9	73.0	74.4	22.1
4	29.0	42.0	21.1	77.1
5	30.8	12.3	47.3	61.4
6	3.3	34.3	54.4	—
7	16.4	42.5	—	199.8
8	17.6	—	9.9	20.4
	7	8	11.4	76.1
	8	122.1	17.5	63.2

単勝

①	4.1	⑥	134.2	⑪	76.5	⑯	
②	9.8	⑦	49.0	⑫	7.2	⑰	
③	32.5	⑧	54.2	⑬	15.5	⑱	
④		⑨	2.2	⑭	26.9		
⑤	32.7	⑩	11.0	⑮			

スタッフ予想

枠	馬	騎手	脚質	能力指数	騎手成績	該当レース成績	連対率	最高体重	最低体重
1	1 ブエナビスタ	山口	▲	◯	9 0 1	4 3 5	498	486	472
1	2 ヴィクトワールピサ	矢沢	▲	▲	1 0 0	1 0 0	486	472	508
2	3 ヒルノダムール	佐藤	△	◎	1 2 0	1 3 2	540	462	470
2	4 ペルーサ	植田	△	◯	0 1 0	0 1 0	480	470	440
3	5 エイシンフラッシュ	小藤	△	◎	0 6 1	6 3 2	488	440	440
3	6 キングトップガン	木村	◉	▲	1 2 0	5 4 1	466	468	520
4	7 トウザグローズ	郡司	△	◎	1 0 0	2 2 3	468	542	484
4	8 ローズキングダム	若手	△	▲	1 0 0	1 1 7	542	510	486
5	9 オルフェーヴル	池添	△	◎	0 0 3	5 4 2	510	492	496
5	10 トーセンジョーダン	池江	△	◎	0 1 1	3 1 1	488	474	456
6	11 ジャガーメイル	池添	△	◎	0 1 0	1 5 7	466	510	506
6	12 アーネストリー	佐藤	▲	○	1 0 0	1 0 3	468	474	446
7	13 レッドディヴィス	武	△	◯	初	初	542	518	472
7	14 ルーラーシップ	横山	△	▲	騎	騎	480	472	486
					乗	乗			

桃8 橙7 緑6 黄5 青4 赤3 黒2 白1

枠	馬	騎手	斤量	厩舎	馬体重	単オッズ	人気	前走	調教タイム	調教コース	脚質	予想
白1	1	岩田	55	栗	470	2.5	1	天皇賞(秋)1着	34.0	坂	追	◎
黒2	2	松田博	57	栗	474	4.0	2	天皇賞(秋)2着	34.4	坂	追	○
赤3	3	藤田	57	栗	474	7.0	3	天皇賞(秋)3着	34.7	坂	追	▲
赤3	4	安藤勝	57	栗	474	10.9	4	天皇賞(秋)4着	34.2	坂	追	▲
黒5	7	福永	57	栗	470	15.8	5	天皇賞(秋)5着	34.1	坂	追	△
黒5	8	後藤	57	栗	464	16.0	6	天皇賞(秋)6着	34.3	坂	追	△
青4	5	ルメール	57	栗	474	17.0	7	天皇賞(秋)7着	34.4	坂	追	△
青4	6	柴田善	57	栗	470	18.0	8	天皇賞(秋)8着	34.5	坂	追	△
緑6	9	池添	55	栗	474	19.0	9	天皇賞(秋)9着	34.6	坂	追	△
緑6	10	池江	57	栗	474	20.0	10	天皇賞(秋)10着	34.7	坂	追	△
桃8	13	武豊	55	栗	446	21.0	11	天皇賞(秋)11着	34.8	坂	追	△
桃8	14	メンディ	57	栗	496	22.0	12	天皇賞(秋)12着	34.9	坂	追	△
橙7	11	四位	57	栗	470	23.0	13	天皇賞(秋)13着	35.0	坂	追	△
橙7	12	佐藤哲	57	栗	496	24.0	14	天皇賞(秋)14着	35.1	坂	追	△

出走取消

馬	騎手
緑6 Cウィリ	池添
黄5 後藤	福永
青4 柴田善	ルメール
赤3 藤田	岩田
赤3 安藤勝	ルメール
赤3 藤沢和	昆

データ

馬	騎手	前走	調教タイム	調教コース	脚質	予想
桃8 ルーラーシップ	武豊	天皇賞(秋)1着	34.0	坂	追	◎
桃8 レッドディヴィス	武豊	天皇賞(秋)2着	34.4	坂	追	○
橙7 アーネストリー	佐藤哲	天皇賞(秋)3着	34.7	坂	追	▲
緑6 トーセンジョーダン	池江	天皇賞(秋)4着	34.2	坂	追	▲
緑6 オルフェーヴル	池添	天皇賞(秋)5着	34.1	坂	追	△
黄5 トウザグローリー	福永	天皇賞(秋)6着	34.3	坂	追	△
黄5 ローズキングダム	後藤	天皇賞(秋)7着	34.4	坂	追	△
青4 エイシンフラッシュ	ルメール	天皇賞(秋)8着	34.5	坂	追	△
青4 キングトップガン	柴田善	天皇賞(秋)9着	34.6	坂	追	△
赤3 ペルーサ	安藤勝	天皇賞(秋)10着	34.7	坂	追	△
赤3 ヒルノダムール	藤田	天皇賞(秋)11着	34.8	坂	追	△
黒2 ヴィクトワールピサ	岩田	天皇賞(秋)12着	34.9	坂	追	△
白1 ブエナビスタ	岩田	天皇賞(秋)13着	35.0	坂	追	△
桃8 ルーラーシップ	武豊	天皇賞(秋)14着	35.1	坂	追	△

有馬記念レコード

2分29秒5
ゼンノロブロイ
57ペリエ 16年

〔今回推定タイム〕

良 2分32秒台
重 2分34秒台

〔成績の見方〕

①場所（馬場状態）月日
②競走名 条件 着順
③距離 時計
④体重 ペース 秒差
⑤斤量 騎手
⑥頭数 枠順 人気
⑦通過順 前半3F
⑧短評 後半3F
⑨1着または2着馬名

※ペース表記は
Ⓢ…スローペース
Ⓜ…平均ペース
Ⓗ…ハイペース

枠	馬	騎手	斤量	厩舎	馬体重	単オッズ	人気	前走	調教タイム	調教コース	脚質	予想
白1	1	岩田	55	栗	470	2.5	1	天皇賞(秋)1着	34.0	坂	追	◎
黒2	2	松田博	57	栗	474	4.0	2	天皇賞(秋)2着	34.4	坂	追	○
赤3	3	藤田	57	栗	474	7.0	3	天皇賞(秋)3着	34.7	坂	追	▲
赤3	4	安藤勝	57	栗	474	10.9	4	天皇賞(秋)4着	34.2	坂	追	▲
黒5	7	福永	57	栗	470	15.8	5	天皇賞(秋)5着	34.1	坂	追	△
黒5	8	後藤	57	栗	464	16.0	6	天皇賞(秋)6着	34.3	坂	追	△
青4	5	ルメール	57	栗	474	17.0	7	天皇賞(秋)7着	34.4	坂	追	△
青4	6	柴田善	57	栗	470	18.0	8	天皇賞(秋)8着	34.5	坂	追	△
緑6	9	池添	55	栗	474	19.0	9	天皇賞(秋)9着	34.6	坂	追	△
緑6	10	池江	57	栗	474	20.0	10	天皇賞(秋)10着	34.7	坂	追	△
桃8	13	武豊	55	栗	446	21.0	11	天皇賞(秋)11着	34.8	坂	追	△
桃8	14	メンディ	57	栗	496	22.0	12	天皇賞(秋)12着	34.9	坂	追	△
橙7	11	四位	57	栗	470	23.0	13	天皇賞(秋)13着	35.0	坂	追	△
橙7	12	佐藤哲	57	栗	496	24.0	14	天皇賞(秋)14着	35.1	坂	追	△

日刊競馬 株式会社日刊競馬新聞社

【⑩レースつづき】

確定後直前情報

1 ブエナビスタ

▼自信を持って出走

◎松田博師＝最内枠とあって、あまり後ろの位置では厳しそうだが、まあ、出たとこ勝負で行けばいい。体の張り、落ち着きがあって、自信を持って出走できる。いい形で最後を飾らせたい。

［評価］直線で進路を塞がれなければ、ほぼ①着かつ着に来ている。数多くの激戦を戦った経験がものを言うか。

▼中山で好結果を

2 ヴィクトワールピサ

○清山助手＝自在性があるので枠順は気にしていなかった。昨年のこのレースを勝ったように、中山はこの馬の良さを十分に出せるコース。使って体が締まり状態もいいので、いい結果を。

［評価］昨年の覇者。前走は馬群から離れた位置で流れに乗れなかった面も。反動なく調整順調、得意の中山で前進。

▼470キロ台なら

3 ヒルノダムール

○昆師＝関東圏での競馬が久しぶりなので、1日曜日にある程度やって直前は上がり重点に。先週までよりいい反応だった。輸送して470キロ台を維持できていれば力を出せるはず。

［評価］重い馬場での激戦だった春の天皇賞勝ちは、底力を感じさせた内容。凱旋門賞敗退で人気落ちなら妙味十分。

▼ダービーの再現を

5 エイシンフラッシュ

○田代助手＝天皇賞の時にルメール騎手は金曜の軽い調教しか乗れなかったが、今回は追い切りに跨ったから感触をつかめたはず。ロスなく立ち回れて馬込みで我慢できるいい枠だし、ダービーの内容再現を期待。

［評価］ここ2戦最後の踏ん張りを欠いているが、この中間も迫力ある動き。この枠でロスなく運べば巻き返しも。

▼内でロスなく

6 キングトップガン

○鹿島師＝状態は申し分なし。この枠ならうまくインに潜り込んでロスなく運べるのでは。スローになるならば勝負どころから早めに動いてもいい。

［評価］8歳にして重賞を2勝したが、その後は相手強化で小回りを苦にしない

中山10R 馬単

14	299	1	84.4	1	32.3	1	292	1	26.9	1	5.6
2	559	2	197	2	106	2	693	2	59.8	2	19.0
3	847	3	459	3	286	3	285	3	194	3	50.5
4	—	4	—	4	—	4	—	4	—	4	—
5	812	5	425	5	233	5	1178	5	168	5	43.3
6	2818	6	1313	6	1515	6	2738	6	1164	6	403
7	1118	7	594	7	392	7	1211	7	343	7	88.9
8	1389	8	708	8	636	8	2025	8	449	8	123
9	299	9	71.9	9	34.8	9	415	9	28.1	9	—
10	504	10	172	10	96.7	10	547	10	—	10	13.2
11	1617	11	740	11	545	11	—	11	318	11	126
12	833	12	211	12	—	12	655	12	89.3	12	18.6
13	767	13	—	13	235	13	1155	13	185	13	41.1
14	—	14	512	14	641	14	1967	14	415	14	128

7	243	7	451	7	595	7	863	7	712	7	772
8	2025	8	2386	8	3386	8	1825	8	3170	8	—
9	847	9	418	9	—	9	1590	9	—	9	—
10	1032	10	648	10	672	10	814	10	2077	10	241
11	890	11	112	11	218	11	1920	11	3570	11	1288
12	2769	12	322	12	554	12	857	12	3418	12	4342
13	1090	13	1679	13	1211	13	2088	13	3386	13	1211
14	1090	14	1679	14	1211	14	2088	14	3386	14	1211

4	127	1	—	3	118	1	31.3	1	—	1	25.1
5	198	2	—	4	245	2	—	2	178	2	77.5
6	418	3	—	5	—	3	—	3	—	3	—
7	—	4	—	6	402	5	117	5	644	5	67.9
8	—	5	—	7	1549	6	644	6	259	6	392
9	1032	6	—	8	579	7	259	7	246	7	106
10	648	7	—	9	671	8	246	8	30.3	8	117
11	672	8	—	10	124	9	30.3	9	57.9	9	8.6
12	218	10	—	11	235	10	57.9	10	423	10	20.1
13	997	11	—	12	103	11	423	11	101	11	128
14	322	12	—	13	355	12	101	12	154	12	39.1
15	554	13	—	14	535	13	154	13	415	13	63.1
16	847	14	—	15	746	14	415	14	—	14	171

メインデータプラスα アルファ

思うことを書こうと思ったがスペースが6行しかない。いろいろあった一年。ご愛読ありがとうございました。不安はあるけど、何とか生きています。続きはウェブで笑。

◆馬連平均＝1208○円
◆馬連対馬平均人気＝4・4
◆連対馬前走＝［5546］
◆3歳7、4歳7、5歳3
6歳1、7歳以上2
◆JC9、菊花3、秋天3
他GI4、GIII1
◆逃3、先6、差6、追5
❶堅いか荒れるか両極端
❷主流路線はジャパンC組
❸GI馬が活躍
❹3～4歳馬が中心のレース
❺前走③着以下でも要注意
☆☆☆

菊花賞馬VS名牝は98年。セイウンスカイとエアグルーヴが1人気で結果④⑤着。3歳のグラスワンダーが勝ち、②着はメジロブライトだった。馬連430円の好配当。

今年ならレッドディヴィス。消耗していない3歳馬。9に勝っていて能力は高い。前走はGIではないがグラスワンダーもGII⑥着だ。単複13と二強以外10点流し。①着固定3連単で90点、高めの決着で帯封！

とはいえ……まともにデータから推せるのはオルフェーヴルだろう。三冠馬の3歳時有馬記念は84年ルドルフ①着、94年ブライアン①着、05年ディープ②着。近年、レベル低下ぎみの菊花賞馬だが、かつては95年マヤノトップガンや01年マンハッタンカフェが次走の有馬制覇。ローテーション自体は悪くない。

相手は❷❸④で絞ると、何とブエナビスタとトーセンジョーダンが買えなくなった。5歳馬連対率・081はともかく、J6着後の5歳馬は黄信号。

G1春テイエムオペラオー②→⑤着が代表例で、前出エアグルーヴも同様。当欄では1 10を消す。

狙い目はローズキングダム、エイシンフラッシュ、オルフェーヴルピサ。秋の不完全燃焼馬が活躍しやすい有馬記念。3頭とも、それっぽいの～。馬連9→2 5 8。よいお年を。［田所］

有馬記念 最近10年間の成績

年場所 距離 馬齢	1着馬 斤量 性齢	騎手	通過順	枠人気	2着馬 斤量 性齢	騎手	通過順	枠人気	人気	単馬	複馬	連
13中山 2500 良13頭	マンハッタンカフェ 55牝 牡3	名	8 11	9	アメリカンボス 57江田照 牡4	12	12	2	⑤	710		
				3 3 1/2						12	20680	
				1						14	48650	
14中山 2500 稍14頭	シンボリクリスエス 55ベリエ 牡3	手	6 6	6	タップダンスシチー 57佐藤哲 牡5	11	11	1	⑤	370		
				1 2 1/2						③	20630	
				6						⑧	14830	
15中山 2500 良12頭	シンボリクリスエス 57ベリエ 牡2	12	1	3 0 9 / 5	リンカーン 55武 牡3	10	21	11	①	260		
				3 4 1/2						⑫③	1980	
				5						3 12	1290	
16中山 2500 良15頭	ゼンノロブロイ 57ベリエ 牡4	12	12	2 9 1/2	タップダンスシチー 57佐藤哲 牡7	11	11	11	①	200		
				9 3 3/4						⑨⑨	1860	
				1 1/4						11 9	1240	
17中山 2500 良16頭	ハーツクライ 57ルメール 牡4	14	13	2 3 1 1/2	ディープインパクト 55武 牡3	10	8	16	②	1710		
				9 6 1/4						⑩④	3320	
				9						6 10	750	
18中山 2500 良14頭	ディープインパクト 57武 牡3	12	11	10 3 1/3	ポップロック 57ペリエ 牡3	14	14	14	①	120		
				1 6 1/4						④①	1210	
				9						14 14	1070	
19中山 2500 稍15頭	マツリダゴッホ 57蛯 牡3	14	13	3 3 1/2	ダイワスカーレット 53安藤勝 牝3	12	21	11	⑧	5230		
				3 7 9 1/4						③⑦	69020	
				6						3 12	22190	
20中山 2500 良14頭	ダイワスカーレット 55安藤勝 牝3	11	11	3 11 1/2	アドマイヤモナコ 57川田 牝4	13	11	1	①	260		
				7 1 5 1/4						⑬④	33490	
				6						13 14	29490	
21中山 2500 良16頭	ドリームジャーニー 53横山典 牝4	12	13	3 0 1/2	ブエナビスタ 53ルメール 牝3	12	1	1	②	400		
				2 7 1 1/4						⑨②	1510	
				9						2 9	740	
22中山 2500 良15頭	ヴィクトワールピサ 55ムーア 牡3	14	12	2 2 1/2	ブエナビスタ 55スミヨン 牝3	10	9	8	②	840		
				7 1 1/4						③⑦	1640	
				6						11 7	550	

競馬人情 吉川良

第56回有馬記念。出走馬14頭のうち、社台グループの生産馬が10頭にびっくり。そして関東馬は2頭のみにびっくり。で、関東者の私としては、その2頭の馬連④－⑪は買うと、昨日目書いたら、ペルーサが取り消し。

さて、横山典の騎乗停止でペルーサにアンカツと決まった後、当初は騎乗予定のなかった武豊がレッドディヴィスに乗れて、24年連続JRAGI勝利へチャンスが生まれたのだ。

ところで、23年連続を思うと、その凄さに頭が下がる。そうだよ、有馬に武豊がいなくてどうするの。私はうれしさで、⑬の単を買う。テレビでオグリの

編集長の目

ステイゴールド（17歳、父サンデーサイレンス）は、有馬記念に3回出走し③⑩⑦着。母の全弟になるサッカーボーイは88年の有馬記念③着▲。

サンデーの後継馬はあふれているから、ニース級のそろう社台SSで種牡馬になったわけではないが、現役時と同じようにファンを楽しくさせる種牡馬となった。アルコセニョーラとか、ゴールドシーラとか、ゴールド産駒のイメージである。ジャミールとか…▲

▼でも、本当のステイゴールドは違った。あわやの凱旋門賞馬のナカヤマフェスタを送り、ダートGI級のシルクメビウスの父となり、09年の有馬でブエナビスタを倒したドリームジャーニ（宝塚記念も）と、ひょっとしてディープインパクトやナリタブライアンや、シンボリルドルフよりも強い3冠馬ではないかとまで評価上昇オルフェーヴルの父となったのである▲。

▼サンデーの後継馬のうち、自分を超える「子供たち」を送りはじめ、本当の本物の種牡馬となっているのはステイゴールドなのである。これはすごい。

いかに自分に似た産駒を送って成功しても、自分を超えてくれなくては父系は続かない▲。

▼ステイゴールドは、メジロマックイーンの牝馬をことのほか気に入っている。ドリームジャーニー、オルフェーヴル兄弟のほか、土曜阪神のフェイトフルウォーなど。

ニックスとかではない。ステイゴールドはそういう役割りを果たしたいのである▲。

▼メジロマックイーンは91年の有馬記念②着。その半兄メジロデュレンは有馬⑤着。マックイーンの母といとこになるメジロファントムは有馬記念⑬②④⑩⑩着。マックイーンは、有馬⑧⑩着。

その父メジロアサマは有馬を⑤消②着。父子3代天皇賞馬の父系は消えかけ、メジロ牧場まで閉鎖となってしまった▲。

▼ステイゴールドは、天皇賞や有馬記念には欠くことのできない「メジロ一族」の血を、種牡馬である自分が残すことに決めたのである。

オルフェーヴルとドリームジャーニは、自分たちもまた、父と同じような役目を任うべきことを知っている▲。［柏木］

《ニューポリトラック馬場》

美浦トレセンの南Cコースが、内側を芝、外側をニューポリトラック馬場（表記＝南CP）に分割された。ポリトラック部分の幅員は15m、1周は内側＝1858m、外側＝1938m。材料は、電線被覆材、ポリエステル不織布、ポリウレタン繊維、珪砂（けいしゃ）、ワックスなどを混合した物で、優れた排水性を持ち、降雨による馬場悪化が少なく、ほぼ良馬場状態を保てる。クッション性にも優れ、走行時のキックバックが少ない。グリップ力があって滑りにくいため、故障の軽減に期待できる。

グリーンチャンネル解説者

黒津 紳一

中山二五でもブエナビスタの地力の違いに期待。地味に強いレッドが穴。

桧原 正行

（②着）有馬記念は2年連続で女王健在は証明済み。ここがラストランだけに勝って有終の美を飾る。

スロー、前でソツのない競馬を進めていたトーセンジョーダンを力でねじ伏せたJCで底力再確認。ブエナビスタ。JC快勝。ラストランだけは思えない。

中山10R TMイチ推し ⑨オルフェーヴル

安定感を増して迫力満点 さらに良化

10R

	1600	1000	800	600	200	脚いろ
1ブエナビス 栗CW良	▲98.2	65.0	51.3	38.6	12.3	③叩一杯
14栗CW良 騎	▲98.2	64.5	50.5	37.5	12.2	⑧G前追
17栗CW良 騎	71.5	56.6	41.6	13.5	⑨馬なり	
21栗CW良 騎	▲97.3	64.9	50.9	37.5	12.3	④強めに
23栗坂良 647 462	146馬なり					

［－］見た目に悪いところは皆無。脚さばきは貫禄十分。［A］

2ヴィクトワ 栗CW良	△82.4	67.4	53.1	38.9	12.3	⑦一杯追先
11栗CW良 騎			56.4	40.4	12.6	⑨馬なり併
14栗CW良 騎	△83.5	67.3	53.2	39.1	11.8	⑧末一杯先
18栗CW良 騎		70.6	55.2	40.1	12.9	⑦馬なり併
21栗CW良 ﾃﾑｰﾛ	△80.7	64.7	50.0	37.1	12.3	⑧叩一杯先
（古1600トパンガー杯の外3Fより4馬先着）						
23栗坂良手 636 464	141馬なり					

［↗］プール併用で調整入念。万全ではなくても上昇。［B］

3ヒルノダム 海外遠征						
16栗坂武英 526 384	128馬なり		23栗坂藤田 576	414	—馬なり運	
30栗坂武英 534 386	123馬なり		4栗坂助手 563	413	123馬なり	
7栗CW良藤 田	△81.4	66.6	51.9	38.1	11.9	⑧一杯追先
14栗CW良藤 田	△80.6	65.3	50.9	37.3	12.1	⑥叩一杯先
18栗坂武英 561 406	121末一杯		21栗坂藤田 547	404	122一杯追先	
（古500ディアヴァンドーム一杯を追走3馬先着）						

［－］入念に乗って反応上々。完調ではなくても及第点。［B］

4ペルーサ 南芝指		67.4	52.1	38.0	11.0	④馬なり先
11南BW稽田画木		68.7	52.9	39.6	12.7	⑦馬なり先
14南C芝稽田画木		62.6	49.3	37.1	12.2	③馬なり先
22南C芝良安藤勝	△77.3	62.0	48.8	35.7	11.2	③一杯追先
（障オ-ガレンディル馬なりの外を追走4馬先着）						

＊左前挫跖のため出走取消

5エイシンフ 栗CW良	△82.3	65.9	51.6	38.0	12.0	⑦G前追先
15栗CW良 騎	△84.3	67.1	51.6	38.1	11.6	⑦強めに追
21栗CW良 ﾙﾒｰﾙ	△80.5	65.2	50.9	37.1	11.8	⑥強めに先
（古オ-カネオヴァンドーム一杯の内を追走2馬半先着）						

［↗］本来の迫力が戻ってきた。衰えはなく、要注意。［A］

6キングトップガン 栗坂 助手		54.4	40.0	13.1	馬なり先	
7栗坂助手 552 406	138馬なり		14栗坂助手 557	406	132馬なり	
18栗坂助手 568 414	128馬なり		21栗坂助手 533	395	128G前強先	
（古500ガシルクエスティーム一杯を追走2馬先着）						

［－］内容自体は悪くないものの、目立つ上積みはない。［C］

7トウザグロ 栗CW良	▲97.4	66.9	52.8	38.9	12.5	⑦一杯追先
15栗CW良松 山	△80.3	64.7	49.9	37.0	12.0	⑦一杯追先
18栗坂助手 553 401	129馬なり					
21栗CW良福 永	△79.2	63.5	50.1	37.4	11.9	⑦馬なり先
（古1000ノーブルジュエリー強めの内を追走半馬先着）						

［↗］今春の勢いを取り戻せない現状だが、徐々に良化。［B］

8ローズキングダム 栗坂 メン		54.8	40.7	13.1	馬なり先	
11栗坂助手 578 431	142馬なり		14栗坂助手 520	381	131一杯追	
18栗CW良助 手	△82.6	66.1	51.0	36.9	12.3	③強めに
21栗CW良後 藤	△79.8	63.5	49.7	37.2	12.5	⑧馬なり先
（古1000スカイスクレイパー強めの外3Fより½先着）						

［→］今回はコース追いで機敏。上積みはなくても順調。［B］

9オルフェーヴル 栗坂 池添		51.2	37.5	12.3	一杯追先	
4栗坂助手 584 427	134馬なり		7栗坂助手 526	387	125末強め	
11栗坂助手 一 401	128馬なり		15栗坂池添 517	380	122一杯追先	
18栗坂助手 562 405	131馬なり		21栗坂池添 517	377	123一杯追先	
（古オ-ブリエアラフォン一杯を追走半馬先着）						
23栗坂助手 609 446	140馬なり					

［↗］2週連続で内容非凡。疲れは見られず、態勢整う。［A］

10トーセンジ 栗CW良	△98.5	67.6	53.4	39.4	12.7	⑧一杯追運
15栗坂助手 565 419	138馬なり		18栗坂助手 549	395	132馬なり	
21栗CW良Cウィリ	△87.4	71.0	55.0	39.9	12.1	⑦直一杯先
（古500ジロードランバート一杯の内を追走2馬先着）						
23栗坂助手 574 421	135馬なり					

［↗］遅れた前走時より反応機敏。充実一途で勢い光る。［A］

11ジャガーメ 南P良		51.1	36.4	11.5	⑤強めに	
15南CP良助 手		68.1	52.7	37.6	11.5	⑦一杯追併
18南CP良助 手		73.3	56.6	42.5	13.5	⑦馬なり
22南CP良助 手		65.6	49.9	36.1	11.4	⑧一杯追先
（古1600サイオン一杯の外で先行2馬先着）						

［↗］好気合で力強い走り。ハードに追え、前走以上。［A］

12アーネストリー 栗坂 佐智		52.0	37.7	12.7	一杯追	
4栗坂助手 556 407	134馬なり					
7栗坂助手 526 384	130一杯追		14栗坂佐智 523	383	134一杯追	
18栗坂助手 561 406	127馬なり		21栗坂佐智 517	378	130一杯追	
（古オ-ブリエアラフォン一杯を追走半馬先着）						

［→］少し間隙はあいたが、迫力健在。力は出せるはず。［B］

13レッドデイヴィス 栗坂 Mデ		52.4	38.0	12.1	強めに先	
18栗坂助手 552 404	135馬なり		21栗坂武豊 507	374	126強めに先	
（古500ノーティカルスター一杯を追走3馬半先着）						

［↗］この時計で動けるのは反動のない証拠。成長確か。［B］

14ルーラーシ 栗CW良	△86.2	68.4	53.8	38.8	11.7	⑥強めに先
30栗CW良助 手	△84.5	67.7	52.4	38.1	12.3	⑦直強め運
4栗CW良助 手			54.8	37.3	12.0	⑥馬なり併
7栗CW良助 手	△81.3	65.1	50.5	37.5	12.2	⑦末強め運
11栗CW良助 手			54.8	40.0	12.6	⑥馬なり併
14栗CW良メンディ	△88.4	70.3	54.3	39.4	11.9	⑦末強め先
18栗CW良助 手			53.0	38.2	12.8	⑨馬なり併
21栗CW良メンディ	△95.4	64.3	50.7	37.8	11.8	⑦一杯追運
（二本勝エアソミュール馬なりの内を追走半馬遅れ）						
23栗坂助手 600 444	142馬なり					

［↘］運動量は足りているが少し鋭さ不足。万全とは？［C］

競馬人情 吉川良

12 アーネストリー

○佐々木晶師＝コースが違うし距離も長いからこの枠でも大丈夫。行く馬が入れば番手からも問題ないし、自分のペースでスピードを持続しながら運べる形なら、巻き返しは十分可能。

［評価］前走の失速は気になるが、大外枠での出負けも響いた。今回は自分のリズムで流れに乗れそうなのが好材料。

▼来年につなげたい

13 レッドデイヴィス

○音無師＝できればもう少し内枠が良かったが、仕方ない。長きる力量馬だが、器用さがなく、小回りコース克服が鍵。

▼巻き返し可能

14 ルーラーシップ

○清山助手＝アクシデントはあったが、その後はじっくり乗り込んだ。ポン使いの利くタイプでもあるし、春に見せたパフォーマンスを発揮できれば、ここでも楽しみはあると思う。

［評価］対戦成績から見ても世代トップクラスの能力は間違いないが、半年のブランク明けでは割り引きが必要。距離輸送、初距離、初コースと条件は楽でないが、来年が楽しみになるレースを期待したい。

［評価］底を見せない魅力はあるが、前走も最後は詰め寄られた内容。一気の相手強化、経験不足は否めない。

▼伸びしろ十分

ラストランが何度も映る。そのオグリが驕馬レッドディヴィスに見えたりする。

ブエナビスタとオルフェーヴル。どっちが勝つ？　近所に住む外科医とフランス料理を賭けた。外科医はオルフェ、私はブエナ。

パドックのブエナを見ていて、いつも思う。本当に体と心の強い生きものって、静かなものだなあ。そして、その無言に圧倒される。

どんどんジイさんになるのは悲しいけれど、その悲しさの中にはうれしさもあるのでは、という私の2011年、有馬でブエナに惚れてみよう。

①－⑩、①－⑨、①－②、①－③と馬単4点。あとは2011年のフィナーレなので、②－⑩－①の3連単。